

お知らせ

長良川河口堰では洪水を安全に流下させるゲート全開操作を終了 ～塩水遡上を防止し安定取水確保のため通常操作に切り替え～

1. 概要 長良川河口堰では、前線の影響による洪水を安全に流下させるため、7月6日（月）7時39分にゲートを全開にしました。その後、堰地点流量が全開操作の基準流量毎秒800立方メートルを下回ったことから、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、7月13日（月）3時12分に全開操作を終了し、アンダーフロー操作に切り替えました。



2. 状況 流域平均累計雨量 : 512mm（7月5日9時から7月12日7時）
堰最大流入量 : 毎秒約4,400立方メートル（7月8日14時50分）
全開操作開始時刻 : 7月6日7時39分
全開操作終了時刻 : 7月13日3時12分
全開操作継続時間 : 163時間33分

※上記の流量は速報値であり、今後変更になることがあります。

今回の全開操作は、平成7年7月の河口堰運用開始以降174回目であり、本年においては6回目となります。なお、令和元年までの年間（1月～12月）の平均全開操作回数は約7回です。

また、運用開始以降最大の出水は、平成16年10月台風23号による洪水であり忠節地点毎秒7,667立方メートルの流量を観測しています（国土交通省水文水質データベースより）。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ（三重県）、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所
管理課長 川下（かわした） 電話0594-42-5012（代）

長良川河口堰のホームページはこちらを検索

HP

長良川河口堰

検索



過去の
管理情報→



長良川河口堰
のゲート操作→





ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堰下流側）

7月6日8時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堤防より高い位置にゲートを引き上げ）

7月6日8時撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（アンダーフロー操作に切り替え）
7月13日5時30分撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（アンダーフロー操作に切り替え）
7月13日5時30分撮影

【参考】

通常時の長良川河口堰のゲート状態

* アンダーフロー操作時に流木等を除去し、その後オーバーフロー操作に切替える予定です。



通常時の長良川河口堰(オーバーフロー操作による放流)

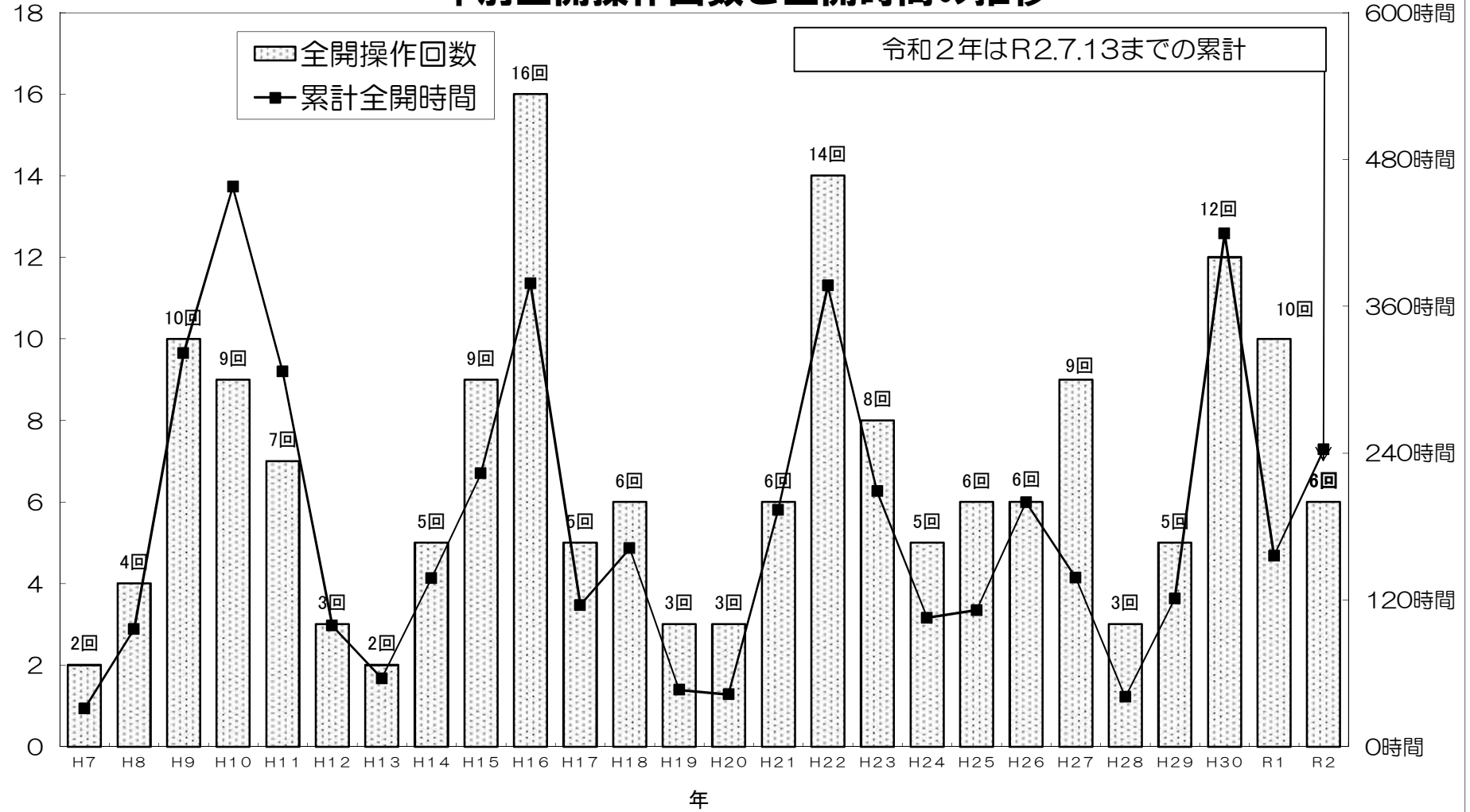


通常時の長良川河口堰(オーバーフロー操作による放流)

長良川河口堰における管理移行後の 年別全開操作回数と全開時間の推移

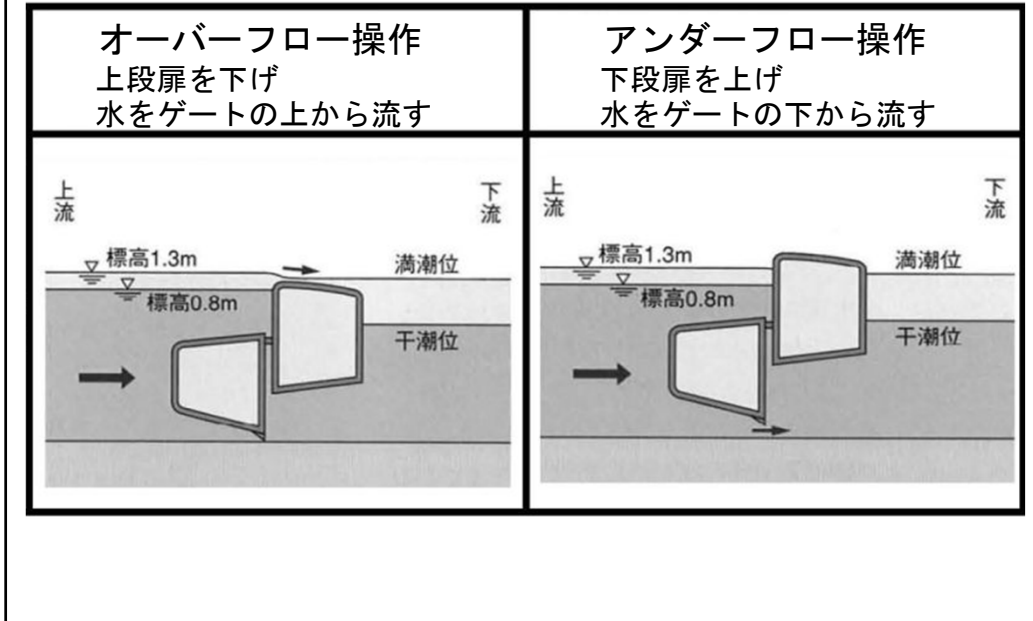
【回数】

【全開時間】



※R2.7.13までの全開操作回数: **174回**
※累計全開時間: 4786時間 41分

ゲート操作状況



ゲート操作状況

